美幌商工会議所　令和８年度第Ⅲ四半期景気動向調査結果

令和8年11月

Ⅰ 調査要領

（１）**調査時点及び調査方法**　調査票を令和８年１０月１日にＦＡＸとメールをし、令和８年１０月１６日を締切日としてＦＡＸとＧｏｏｇｌｅフォームで回収
（２）**調査対象期間**　令和８年７月～９月期実績及び、令和８年１０月～１２月期見通し
（３）**調査対象**　美幌町内の本所会員事業所１１０社
（４）**対象業種**　小売業、卸売業、建設業、製造業、飲食業、サービス業
（５）**回収率**　８０．０％（回答数８８社）
（６）**回答企業内訳**　小売業２５社、卸売業８社、建設業１８社、製造業１３社、飲食業１０社、サービス業１４社
（７）**語句の説明**　D.Ｉ値とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ 調査結果概要

令和8年7月～9月期の美幌町の景況は、業況判断 D.I において、今期 D.I 値が前回調査時（令和8年4月～6月期：▲12.6）に比べて9.0ポイント減少となっており、次期見通し D.I 値は、今期調査時（令和8年7月～9月期：▲21.6）に比べて 3.4 ポイント悪化していく見込みで今後も厳しい状況が続くと予測されます。経営上の課題としては今期においてもエネルギーや原材料費の高騰に伴う「諸経費の増加」が最も多くあげられています。次いで「人材不足」が多く、また、「得意先の減少」と「人件費の増加」が同率となりました。長期的なコスト負担や人手不足に加え、得意先の減少に伴う受注減が重なるなど、収益面・人材面・需要面における多重苦が深刻化しており、今後の経営を圧迫する懸念材料として浮き彫りになっています。

	今期 D.I 値	前回調査比（8年4月～6月期(値)）	次期見通し D.I 値	次期見通し今期比
業 況	▲21.6	▲12.6(▲9.0)	▲25.0	▲3.4

	今期 D.I 値	前回調査比（8年4月～6月期(値)）	小売業	卸売業	建設業	製造業	飲食業	サービス業
売 上	▲19.3	▲8.1(▲11.2)	↓(▲36.0)	↗(+12.5)	↘(▲16.7)	→(±0.0)	↘(▲20.0)	↘(▲28.6)
採 算	▲22.7	▲18.2(▲4.5)	↓(▲32.0)	↗(+12.5)	↘(▲11.1)	→(▲7.7)	↓(▲30.0)	↓(▲50.0)

（凡例）↑ 30以上　↗ 10～29　→ 9～▲10　↘ ▲11～▲29　↓ ▲30以上

	今期 D.I 値	前回調査比（8年4月～6月期(値)）	次期見通し D.I 値	次期見通し今期比
資 金 繰 り	▲7.9	▲12.6(+4.7)	▲14.8	▲6.9

経営上の問題点

○小　売　業：・問屋が減ってきています。
・原料の値上りが続いています。買い控えもある中で満足に値上げもできておらず、これからなんとか対応しないといけません。今後ともご指導ご支援よろしくお願いいたします。
・スタッフ不足

○卸　売　業：・値上げが収まらない為、仕入商品の価格上昇で在庫補充すると利益が半減してしまう。注文数を減らすが支払価格が下がらない。お客である業者、その先のお客が辛抱して購入商品を減らしている。常に他店での在庫縮小している中、時間も人も不足して作業しているので在庫が多い当店に来店する常連でない客が増えている。

○建　設　業：・来期の受注減がある（当社）。令和9年度は厳しい状況だと思う。
・技術者、作業員などの人手不足。特に若年層の人材不足

○製　造　業：・仕事量の減少
・石油関連資材の高騰
・公共事業の為、原材料が高騰を販売価格に転嫁するのが困難

○サービス業：・消耗品（シャンプーなど）価格の値上げ
・9月の売上は悪かったです。その他の月も R7年より悪化しています

○飲　食　業：・無断キャンセル、当日キャンセルが増えている

お問い合わせ：美幌商工会議所　TEL：0152-73-5251